

社会資本総合整備計画
事後評価書
(仙台市)

平成29年3月

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

計画の名称	河川整備による都市の雨水対策推進（防災・安全）									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）			交付対象	仙台市					
計画の目標	都市化の進展等に対処し、安全で快適な生活環境の実現を図るため河川整備等による雨水対策を推進する。									
計画の成果目標（定量的指標）	・計画規模相当の降雨に対し 9.7haの被害解消を図る。									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
	浸水被害が解消される区域の面積						77.9 ha	-	87.6 ha	
全体事業費	合計 (A+B+C)	263	A	263 百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

1. 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価委の実施時期
本市独自に実施	平成28年度（繰越により事業実施のため、平成27年度に交付対象事業完了）
	公表の方法
	ホームページによる公表

交付対象事業

A 基幹事業

A1-1 河川事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25			H26
1-A-1	河川	一般	仙台市	直接	仙台市	都市基盤1	改修	笹川都市基盤河川改修事業	掘削、橋梁（N=1基）	仙台市	■	■	■	■	■	22	H24地域自主戦略交付金
1-A-2	河川	一般	仙台市	直接	仙台市	都市基盤2	改修	高野川都市基盤河川改修事業	補償	仙台市	■					1	H23・24東日本大震災により事業休止
1-A-3	河川	一般	仙台市	直接	仙台市	流貯2	改修	高野川流域貯留浸透事業	流域貯留施設（N=1箇所）	仙台市				■	■	79	H22東日本大震災により期間解除、H23・24事業休止
1-A-4	河川	一般	仙台市	直接	仙台市	準用1	改修	名取川圏域総合流域防災事業（堀切川）	掘削、護岸（L=267m）	仙台市	■					116	H23・24東日本大震災により事業休止
1-A-5	河川	一般	仙台市	直接	仙台市	準用1	改修	名取川圏域総合流域防災事業（谷地堀）	掘削、護岸（L=70m）、橋梁（N=1基）	仙台市	■					45	H23・24東日本大震災により事業休止
河川事業小計																263	
合計																263	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計														0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計														0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

その他関連する事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		

A'	0	百万円	B'	0	百万円	C'	0	百万円	効果促進事業費の割合 (C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))	0.0%
----	---	-----	----	---	-----	----	---	-----	---	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況			
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	河川施設の効果的な整備により、被害の予防、低減を図ることができた。		
II 定量的指標の達成状況	最終目標値	87.6 ha	目標値と実績値に差が出た要因 目標値を達成した。
	最終実績値	87.6 ha	

3. 特記事項（今後の方針等）
近年の河川流域の開発や低平地での市街化の進展に伴い、雨水の浸透域の減少や流達時間の短縮によって、大雨時に浸水被害が発生する状況になっている。「災害に強い街づくり」の観点から、浸水被害から市民の生命や財産を守るため、本計画に基づき必要な対策を講じたことにより、大雨に対する安全度を高めることができた。 引き続き、河川の狭窄部や流下能力の不足している河川の治水安全度を高めるため、次期（H27～H31）社会資本総合整備計画において効率的、効果的な整備を進めていく。

計画の名称	河川整備による都市の雨水対策推進(防災・安全)		
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)	交付対象	仙台市

